

「Field Research in East Asia 報告書」

京都大学経済学研究科 博士課程 1年 竹下 伸一

① 学習成果

- 1) KNUでのワークショップでは塩地先生が開幕の辞を全て韓国語で行われた事には感動しました。Seok 教授による韓国経済発展史のプレゼンがあり新興国として輸出指向のキャッチアップ政策の変遷を良く理解できました。先進国に追いつき次の発展を目指すには先進事例が無い中で現在の日本同様に難しい地点に立っている事を認識。韓国社会の改善点は人口の減少傾向の中で社会福祉の更なる強化、大統領が変わる毎に経済政策が変わる事、新技術開発で生産効率の向上、中小企業の拡大・強化、新たなガバナンス体制への移行などを提言されていました。
- 2) テグ広域市市役所を表敬訪問し副市長と面談した。Samsung グループ発祥の地であり企業の集積は周辺を含め進んでいるが、今後は新技術である Clean energy, Medical/Healthcare, Water-Environment 関連の企業誘致し PPP ベースで開発を進めていく。最近京都のホリバ（水関連）の企業誘致に成功した。製造業に加えサービス産業として医療セクターを強化する為に神戸の理科研ともコンタクトしている。ソーシャルメディア とネットショップを組み合わせた販売促進の手法であるソーシャル・コマースの分野でも Softbank の孫社長の支援を受けて進めている。若者を引き戻すために Little Silicone Valley を形成したい。企業の税金は中央政府へ個人所得税は市へ納税されるので市内にすむ従業員の数を増やすためにも企業誘致は不可欠。この様な地方自治体との提携関係もこれから役に立つかと感じた。
- 3) テグ市の近郊にあるグミ市でサムソンの Galaxy スマートフォンの組立工場の視察と LG グループの TV 組立工場の視察 工場の壁に掲げられている Be the first, Do it right, Work smart のスローガンが興味深かった。文教授から両社の企業文化の違いの説明：サムソンは工場ストライキによる経営困難を経験労働組合の結成を認めず信賞必罰方式の厳しい経営体制。LG は創業者が学校教師であったが故に家父長的な経営体制を実施している。いずれも後継者交代時期に直面しており今後の創業家の動向が興味深い。
- 4) Samsung の繊維工場跡地に設立した Daegu Samsung Creative Campus で社長から韓国政府による Center for Creative Economy & Innovation (CCEI) の設立理由と韓国の Start-up ecology 開発戦略（中小企業向け）の解説を受けた。韓国の財閥系企業だけが膨張しているものの将来の新産業開発には中小企業の発展が必要と認識して全国に 17 カ所の CCEI を 3 年前から設立し（中央政府 60%、地方政府 40% 出資）政府指導で中小企業振興方策を進めている。この CCEI で特許弁護士、VC 紹介役、会計士で備え One-Stop で start-up 企業を支援する体制で数十社が立ち上げに成功している。センター内には 3-D Printer、加工機械などを備えた工作室が 5 部屋設置され Prototyping が容易にできるような環境を作っている。Smart factory, 3-D printing, Bio-herb valley, zero-energy village, hydrogen fueled car (EV は除外) が開発対象。日本でも参考になるかと思った。

② 海外での経験

平昌冬季オリンピックが同時期に開催されて街中も賑わい、新規技術開陳のショーケースになっていました。私自身に取ってソウルは約 35 年振りの再訪で、その経済発展ぶりを実感する期待を裏切らない旅行となった事に満足しました。全人口 50 百万人強の半分以上の 30 百万人がソウル首都圏に住んでいる事には驚きハンナン・タワーから眺める首都圏の高層建築物の多さには韓国経済発展の成果に深く感銘を受けました。やはり現地を見ると実感できる貴重な経験かと思えます。韓国における過去の日本の侵略の痕跡は消す事のできないものでありその重さが運ぶ足を鈍くしていましたが、今回の視察で矢張り足跡を辿る事で静かな鎮魂を果たしたかと思えます。韓国の義士（金重根）による伊藤博文暗殺、王宮での王妃殺害事件、日本統治下の刑務所での政治犯の扱いなど暗い過去の歴史の痕跡を改めて振り返る事ができたのは未だ南北や日韓での緊張感が続く中で得難い経験でした。若い世代による改善を期待したい。

更に各都市での社会事情・民意の違いも Proxy で判断できるかと思えます。トイレのウォシュレットはソウルとプサン（日系ホテルであるので dummy 変数が必要か）に備わり、テグ地域では無し（但し、Samsung

のオフィス棟では例外的に設置有り)。タクシーの運転手はソウルでは一応 Cheating 無し、テグでは半々、プサンでは遠回りしたり目的地を知らぬ振りをして料金を稼ごうとしたり、吹っ掛ける悪辣な運転手を経験したがこのような運転手が多いようである。タクシーの運転手もミクロ・レベルでは新興国のある種の経済発展の指標にはなるかと考えます。

③ プログラム内容

零下 10 度以下の厳寒期で一番厳しい季節である事を実感しました。2 月 16 日から旧正月休暇が始まる時期にも重なり、現地の先生方も 4 月頃の開催が最適ではないかとの意見がありましたので派遣期間を再考して頂ければもっと良い経験や成果がでるかと思えます。

④ 進路への影響

今回の旅行で知り合う事ができた韓国の教授陣や関係者は将来の研究推進では大きな支援を受ける事が期待できるかと思うので、このような海外研修の参加の機会を増やして行きたい。